第225号

月刊 住宅情報誌 選 進 2021年(令和3年)9月1日(水)



- 1 羅針盤 未来志向で生きる
- 3 浴室の安心・安全確保の決定版
- 4 美しい外装を実現 エレガンストーン
- 5 まだまだ続く大雨に万全な対策を!
- 6 この秋も好評を維持 スカイコートW
- 8 木材劣化診断士の活躍は続く
- 9 地方暮らしを考える

未来志向で生きる



受ける。

過去も現在も未来のためにある

私は、茨城県水戸市出身で、幼いころより地元の様々な文化に触れて育ってきました。 そして、成長とともに、江戸時代の水戸藩において形成された学問である水戸学に興味を 持つようになりました。

水戸学は、儒教の考え方を中心に、国学、史学、神道を取りまとめた学問です。その中で、私が特に共感している考えが、「彰往考来(しょうおうこうらい)」です。

彰往考来は、中国の歴史解説書『春秋左氏伝』にある言葉で、水戸学の礎の一つでもあり、文字通り、過去をあきらかにして未来を考えることの重要性を示しているのです。 それはまさに、未来志向で生きることを表した言葉なのです。

未来志向で生きるには、過去だけでなく、現在も大いに省みなくてはなりません。なぜなら、未来から見れば、現在も過去の一部に過ぎないからです。

しかし、現実には、現在を省みる人は少ないようです。それは、自尊心が邪魔をして、 現在の自分を否定せざるを得ないようなことになるのを恐れているからです。それでは、 未来志向で生きることはできません。

未来志向で生きるためには、まず過去も現在も未来のためにあるという考えを持つことです。そして、常に視点を未来に置き、あらゆることを改める習慣を身につけるのです。

それを踏まえて、未来とは素晴らしいものであるとイメージし、その実現のためには、何事も未来から見つめて、具体的な計画を実行します。そうすれば、つまらない自尊心は消え去り、現在を改めることに迷いがなくなり、素晴らしい未来が実現するのです。

失敗に囚われず反省する

未来志向を妨げる大きな要因の一つに、失敗に囚われることが挙げられます。それは極めて非生産的であり、無意味なことです。いくら悔やんでも、やってしまったことはしょうがないので、いつまでも、そこで足踏みしていてはダメです。大事なことは、それをいかにリカバリーするか、つまり未来のために役立てられるかということなのです。

かの発明王エジソンの言葉に、「私は失敗したことがない。ただ1万通りの、うまくいかない方法を見つけただけだ」があります。まさに、エジソンほど、失敗に囚われることなく、未来志向を実践している人物はいないと思います。

さらに、重要なこととして、失敗は決して責めてはいけないのです。失敗した人間を非難しても、そこから何も生まれません。むしろ、モチベーションを下げて、未来志向の実現を妨げることにもなりかねないのです。それに、失敗を責められれば、より一層、失敗に囚われることにもなります。

失敗に囚われず、正しく向き合うことができるのであれば、そこで十分な反省をしましょう。まさに、彰往考来の「過去をあきらかにして未来を考えること」に通じるもので、 未来志向の本質の一つなのです。

松下電器産業(現パナソニック)創業者・松下幸之助氏は、「反省する人はきっと成功する。本当に正しく反省する。そうすると次になにをすべきか、なにをしたらいけないかということがきちんとわかる。それで人間として成長していく。反省しなければ、そういうことがわからず、同じことをする。間違いを繰り返す」と述べています。

まさに、未来志向は人を成長させるものであることを指摘しているのです。

そして、松下幸之助氏のこの言葉の中で、特に重要なのが、「次になにをすべきか、なにをしたらいけないかということがきちんとわかる」という部分です。それを確認し実践することが、未来志向で生きることなのです。

未来志向は、自分一人だけでなく、会社をはじめ、あらゆる組織を構成するすべての人が共有することで、はじめて大きな力を発揮します。なぜなら、未来志向は多くの人の素晴らしい未来を実現するため、つまりこれからの幸福のために実践すべき考えだからです。これを踏まえて、自分に関わるすべての人の幸福実現のために、未来志向で生きることを大いに実践しましょう。

浴室の安心・安全確保の決定版 浴室換気乾燥暖房機

秋から冬にかけての一番人気商品

躍進では今月より、リフォーム総合提案「足場パック」のオータムキャンペーンを開始いたしました。まさに秋が訪れ、その深まりを経て、いつの間にか、冬の寒さを感じるようになるのです。

そのような中、これからの季節の一番人気の定番商品である**浴室換気乾燥暖房機**に、ご 注文、お問い合わせが、早くも寄せられています。

躍進では、ヒートショック対策用として、「壁面タイプ/浴室用/防水仕様」、「同/脱衣室・トイレ・小部屋用」、「同/換気扇内蔵タイプ」、「同/換気扇連動タイプ」、「天井取付タイプ」(写真参照)をご用意いたしました。

冬場の浴室の脱衣所やトイレ、廊下などで寒さにさらされると、血管の過度の収縮により血圧が急変動し、脈拍が早くなり、高齢者の場合、心疾患や脳障害などの事故につながることもあります。最悪の場合、急性心不全、心筋梗塞、くも膜下出血などによる突発的な死を引き起こします。



65 歳以上の方は、たとえ健康に自信があったとしても、入浴時には注意が必要です。脱衣所と浴室の温度差が 10 度以上にならないように注意しなくてはなりません。さらに、高血圧・糖尿病・動脈硬化のある方、肥満気味の方、睡眠時無呼吸症候群や不整脈がある方、お酒を飲んでから入浴する習慣のある方などはヒートショックに要注意です。

■高齢者が入浴した時の最高血圧の変化



入浴前にその都度浴室をシャワーで暖めたり、脱衣所にファンヒーターを移動したりするのでは、負担が大きいままです。浴室換気乾燥暖房機によって、安心・安全を確保してください。ご注文、お問い合わせは、躍進までお気軽にご連絡ください。

美しい外装を実現 エレガンストーン 自然石調装飾仕上塗材

いまや、躍進の外装工事を代表する商品として、すっかりおなじみとなりました自然石調の装飾仕上塗材『**エレガンストーン』(写真参照)**は、自然石の無機系素材がベースで、建物のエントランス部分から、戸建て住宅の外壁にも用いられています。

自然の風合いを活かした意匠性が、壁面を多彩に演出します。



主な特長は以下の通り。

【意匠性】

豪華な自然石調の仕上がりが得られます。

【耐久性】

無機系素材の使用により、耐久性に優れます。

【超低汚染仕様】

超低汚染型のクリヤートップを施工することで、耐汚染性を向上させることができます。

家の経年劣化に対応すべく、外装一式工事を実施し、家の長持ちを実現してください。 躍進までお気軽にご連絡ください。

まだまだ続く大雨に万全な対策を!

毎年、全国各地で甚大な被害をもたらす大雨ですが、いまや台風やゲリラ豪雨を含め、 大雨被害のない年はないといってもよい時代になりました。

こうした被害の復旧作業において、絶対に忘れてはならないのが、防菌・防蟻・防腐処理です。

床下の後処理を忘れない

一般に、大雨被害が、床上浸水にまで及ばずに床下浸水で留まっていると安心してしまうものですが、それは大きな落とし穴です。

そして、生活空間である床上には、清掃の後、消毒をしますが、床下にまで後処理が及ばないことが多いのです。しかし、床下の後処理こそ極めて重要なのです。

水が引き、床上の汚泥は取り除くことはできても、床下の汚泥は、なかなか取り出すことができません。しかし、そこで「日常生活に支障がない」などと判断して、そのままにしてはいけないのです。

汚泥は、異様な悪臭を放ちます。その悪臭の原因となっているのがカビや細菌です。それは、感染症の原因にもなるのです。

そして、**汚泥は、間違いなく土台や束などをはじめとする床下の木材を腐食します。さらに、金具部分にも錆を発生させるのです。**

また、汚泥を排出・清掃し、様々な菌を消毒しても、湿気をそのままにしておけば、**シロアリや腐朽菌を発生させることになるのです。**特に、不十分な後処理によって、不要な水分を残しておけば、腐朽菌を繁殖させることになります。

腐朽菌は、土台などの木材の主成分であるセルロースやヘミセルロースなどを分解して、 木材を多孔質に変化させ強度を下げるのです。

床下に施した断熱材も、その種類にもよりますが、**水を含んでしまっているので、断熱性能が著しく低下します。**

さらに、床下の電気配線なども総点検しなければなりません。**浸水が原因で傷んだり故障したりして、火災を発生させる可能性があるからです。**

床下は、適切に排水し、徹底的に乾燥させ、確実な消毒を施さなければならないのです。 長く住み続けるためには、適切な処置が不可欠なのです。

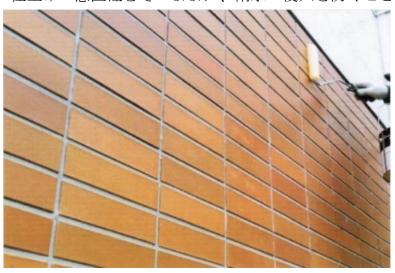
床下・床上浸水の後処理における適切な防菌・防蟻・防腐処理は、躍進におまかせください。ご連絡をお待ちしています。

この秋も好評を維持 スカイコートW 水系ウレタン樹脂

タイル仕上げの魅力を生かす

昨年より躍進がご案内している、強靭で柔軟な被膜を形成するタイル張り面の透明外壁 防水材『スカイコートW』が、秋のシーズンに入り、変わらないご好評をいただいており、 ご注文、問い合わせが多く寄せられています。

透明度の高い水系ウレタン樹脂を主成分とした、1液型外壁用透明防水材です。透明な 塗膜なので、タイル仕上げの意匠性をそのままに、雨水の侵入を防ぐことができます。



オール水系



プライマーを含め、すべての構成材料は水系であり、危険物を一切含んでいないため、 引火や中毒の危険がなく、居住者・作業者・環境にやさしい材料といえます。

抜群の高性能被膜

ウレタン樹脂の特性を生かし、強靭で柔軟な被膜を形成し、驚異的なひび割れ追従性 (20mm 以上)、抗張積 (2670N/mm) を備えています (写真参照)。

また、専用プライマーにより、磁器タイルのような吸い込みの少ない下地へも強固に接着し、タイルの剥落の予防に寄与します。





優れた施工性

すべての構成材料は、1液型のため煩雑な混合作業は必要ありません。壁面施工でもダレ難く、適度なレベリング性により、フラットな仕上がりになります。

防カビ・防藻機能

防カビ・防藻機能を付与しており、不快なカビや藻の発生を抑制します。

施工仕様

工程		使用材料	塗布量(kg/m²)	塗布回数	塗布間隔(目安)	塗装方法
1	プライマー	スカイコートWプライマー	0.1~0.2	1	春秋 約2時間 夏 約2時間 冬 約3時間	ローラー
2	防水層①	スカイコートW防水材	0.2~0.3	1	春秋 約3時間 夏 約3時間 冬 約5時間	刷毛、ローラー
3	防水層②	スカイコートW防水材	0.2~0.3	1	春秋 約3時間 夏 約3時間 冬 約5時間	刷毛、ローラー
4	トップコート	スカイコートWトップ	0.1~0.2	1~2	_	刷毛、ローラー

高い防水性に加えて、意匠性の確保や、施工性の高さなど、各方面で多大な評価をいただいております。

『スカイコートW』のご注文、お問い合わせは、躍進までお気軽に。ご連絡をお待ちしております。

木材劣化診断士の活躍は続く

床下点検に多くの実績がある躍進には現在、4人の**木材劣化診断士**がおります**(写真参照)**。これまでに多くの実績を重ね、さらなる期待を集めています。



木材劣化診断士は、木材の生物劣化(腐朽と虫害)の診断技術の専門家です。 外構の中心となる木質構造物の生物劣化の現況を診断する様々な能力を有しています。 また、補修や修理に関する助言、改修や維持管理に関する助言を行うことができます。

木材劣化診断士が習得した診断技術は、住宅などの劣化診断にも適用可能です。住宅と 外構の劣化のポイントをおさえ、木材とその劣化、構造別の劣化の特徴を把握しています。

そんな躍進の木材劣化診断士は、「**お客さま第一主義**」を徹底しております。

すべての仕事は、まずお客さまありきです。何事も、お客さまからスタートしなければ ならないのです。

まさに、「お客さま第一主義」こそ、木材劣化診断士の原点と心得ております。

常に、お客さまの立場に立って、物事を考えます。

そして、お客さまのニーズを掴み、それにすばやく的確に応えることが躍進の使命・責務と考えております。

注目度は増すばかりの「地域のホームドクター」

また、躍進の木材劣化診断士は、「**地域のホームドクター**」として活躍中です。

躍進は「地域のホームドクター」として、地元を中心に、多くの皆さまの暮らしを見つめてまいりました。

幸せなホームを実現するには、その入れ物であるハウス(住宅)が健全でなければなりません。そして、肝心なのは、治療だけでなく、「住まいの予防医学」を実践することです。

その中でも、床下点検は、「住まいの予防医学」を実践する「地域のホームドクター」である躍進のまさに背骨ともいえる部分です。

シロアリや腐朽菌によって、食害・侵食された家屋の耐久性は、著しく低下します。耐 震強度も下落し、新築当初の性能は保証できません。もし大きな地震等に遭い、家が傾く ほどの損傷を受けた場合、その資産価値はゼロになってしまうのです。

そのため、床下点検を行い、土台や束などの木材の状態をチェックし、適切な処置を施 さなくてはなりません。

その最前線で活躍しているのが、躍進の木材劣化診断士であり、「地域のホームドクター」 としての役割を果たしているのです。

床下点検は、前述の通り、まず土台や東などの木材の状態をチェックします。

点検で蟻害や羽蟻の発生を確認するのですが、浴室などの水周りだけでなく、玄関にも 羽蟻が発生しやすく、見落としがちになってしまいます。

こうした点を満遍なくチェックするのが、「地域のホームドクター」なのです。そして、「住まいの予防医学」の実践に邁進し、その活躍に対して、「地域のホームドクター」への注目度は増すばかりです。

床下点検からはじまる「家の安心・安全」は、「お客さま第一主義」の躍進におまかせを。 ご依頼、ご相談などお気軽にご連絡ください。

地方暮らしを考える 住宅コラム

住まいは、家自体の性能、機能、デザインだけで成り立つものではありません。どこに家を建てるか、つまり立地が大事なのです。その条件を十分考慮したうえで、暮らしが成り立つのです。

本誌 221 号(令和3年5月号)において、「高齢者の住み替えを考える」として、高齢者の地方暮らしの現実について述べました。確かに、「定年退職したら、都会を離れ、田舎に住みたい」という話を耳にしますが、それが高齢者にとって有効とは限らないようです。

しかし、若い世代にとって、地方暮らしは大いに魅力があるようです。これに関連して、株式会社トラストバンク(本社:東京都渋谷区)は、都内に住む 20 歳以上の男女 1,049 名を対象に、「地方暮らしに関するアンケート」を実施し、結果を発表しています(期間: 2021 年 6 月 10 日~16 日、方法: インターネット調査)。

これによると、地方暮らしに「関心がある人」と回答したのは全体の 58.3%で、昨年 6 月に実施した同じアンケートで得られた 56%より 2.3 ポイント増加しています。

中でも、若い世代は顕著な関心を寄せており、 $20\sim30$ 代は、「すでに二地域居住やワーケーションなどを始めている」という回答が81.1%、「すでにする予定」という回答が71.5%を占めており、昨年の回答(56.2%、45.8%)よりも、それぞれ約25 ポイントの増加を見せています。

また、「関心があり情報を集めている」で一番多かった年代は20代で、28.8%に上りました。次いで多かったのは40代で、24.3%となっています。1年以上続くコロナ禍によって、テレワークが定着したことも、地方暮らしを考える要因になっていると思われます。

必ずネット環境を確認する

地方暮らしで、大いに注意しなければならないことの一つに、ネット環境の確認があります。今の時代、どこでも光回線が使えると思ってしまうかもしれませんが、実際には、そうでもないのです。

地方でも、駅前の繁華街や住宅地であれば、ネット環境は万全でしょうが、田畑をはじめ自然に囲まれている環境では、光回線が通っていないエリアもたくさんあるのです。

これを確認しなければ、リモートワークは不可能となり、都会にある会社に勤務しながらの地方暮らしは実現できなくなるのです。

また、光回線が通っていなくとも、Wi-Fi を駆使すれば良いかもしれませんが、有線に比べて通信速度が落ちるタイプもあります。Zoom などを利用して会議をするだけでなく、趣味でオンラインゲームを楽しみたいと思えば、高速通信ができるネット環境の整備は必要不可欠なのです。

地方暮らしだけでなく、あらゆる住まいの快適性を確保するのは、住宅関連事業者の役割です。家の不具合などに即座に対応するだけでなく、ネット環境の整備などにも積極的に関わり、十分な提案をしてこそ、住まう人の豊かな暮らしが確保できるのです。

その役割は、住まう人の意識やライフスタイルによって変化し、どんどん幅を広げていきます。これからは、そうしたトレンドに十分に対応していかなければならないことを心得ておきましょう。



本 社 ^{〒337-0043} 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 **回**048-688-3388 **國**048-680-7615 東 京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F 営業所 **回**03-6804-2541 **國**03-6804-2542

URL=http://www.yakushin.jp E-mail=yakushin-no1@nifty.com

関連会社 株式会社 ヤクシンジャパン

関連会社 **S**First Arrows ファーストアローズ

事業内容

防水工事: FRP、ウレタン、塩ビシート、 ゴムシート、アスファルトシーリング、注入 ピンニング、シングル葺き

木材保存工事:床下点検、シロアリ駆除及び予防、調湿剤、床下換気等

途装丁事: 各種途装

外部点検:屋根、陸屋根、バルコニー、 外壁 等診断